

F-13 栄養家計簿による食費の調査(事例報告)

女子栄養大 ○小林淑子 川村玲子 香川 綾

目的 主婦が一つの栄養目標を持ち、家計簿記録を継続することによって、食物選択がどのように変わっていくか、を食費を中心に検討した。

方法 過去7年間、家計簿モニターとして記録を継続している6世帯を対象に、記録家計簿から、2月の購入食物費について調べた。

結果 家計調査報告と比較すると、家族構成員数、年齢など諸条件による世帯差はあるが、概して、構成比が高い費目は乳、肉、緑黄色野菜で、構成比の低いものは穀物、調理食品、菓子、嗜好品である。特に調理食品は、年々市場の品数が増えているにもかかわらず、モニター事例では逆に構成比が少なくなっていく傾向がみられる。果物、魚は各世帯での変化が大きいの。